

科目	解剖学	担当	長谷川 義美	履修学年	1年
時間数	90分×時限×38回(週1回)	履修区分	必修	単位数	3単位

【授業目標・到達目標】

解剖学は人体の正常な形態と構造を学修する。前期は骨学・関節学・筋学・神経学の運動器系を中心に学修し、後期は脈管学・内臓学・感覚器学や発生学を学修する。解剖学により人体の形態や構造の知識を習得し、人体の機能の礎を構築することを目標とする。

【履修注意】

講義プリントを中心に講義する。学修量が多いことより、講義ごとに復習をしっかりと行うこと。また理解が不十分な箇所は教科書や参考書を用いて、知識や理解の定着に勤しむこと。模型を見て理解を深めることも推奨する。

【評価方法】

講義ごとに前回範囲の小テストを行う。またそれぞれの系統ごとに中間試験を施す。受講態度とそれぞれの試験を総合した評価を行う。

【試験について】

小テスト、中間試験、および中間試験の追・再試験を実施する。
再試験対象者の条件：中間試験の成績が60点未満の者

【予習・復習】

学修時間は1単位45分が文部科学省指針です。1単位科目は90分の講義に対して45分、2単位科目は90分の講義に対して90分の自宅学習(予習、復習)が必要です。解剖学は学修量が膨大であるため、普段の勉強量が成績に関わってきます。講義後に復習を中心とした内容の把握をしっかりと行うこと。

【教科書】

書籍名：標準理学療法学・作業療法学 解剖学 編集：野村 嶺 出版社：医学書院
書籍名：解剖学カラーアトラス 著者：J.W. Rohen、他 出版社：医学書院
書籍名：PT・OTのための多肢選択問題集 解剖学 著者：長谷川義美、他 出版社：一粒書房

【参考書】

書籍名：プロメテウス解剖学アトラス 監訳：坂井達雄、他 出版社：医学書院
書籍名：グレイ解剖学 訳者：塩田浩平、他 出版社：エルゼビア・ジャパン
書籍名：イラスト解剖学 著者：松村譲児 出版社：中外医学社

【その他の注意事項】

【授業計画・内容】

回数	項目	内容
1	解剖学総論	細胞・組織・器官、解剖学用語の解説
2	総論、脊柱・胸郭と体幹の関節	
3	上肢骨と上肢の関節	
4	下肢骨と下肢の関節	
5	頭蓋骨と顎関節	
6	総論、頭頸の筋	
7	上肢の筋	
8	下肢の筋	
9	体幹の筋	
10	総論、上肢の脊髄神経	
11	体幹と下肢の脊髄神経	
12	脳神経	
13	中枢神経	
14	総論、心臓	
15	動脈系	
16	静脈系、リンパ系	
17	視覚器、聴覚器、皮膚感覚器	
18	消化器、呼吸器	
19	泌尿器、生殖器、内分泌器、発生学	